

伝えたい

まちの遺産

国史跡 杉山城跡

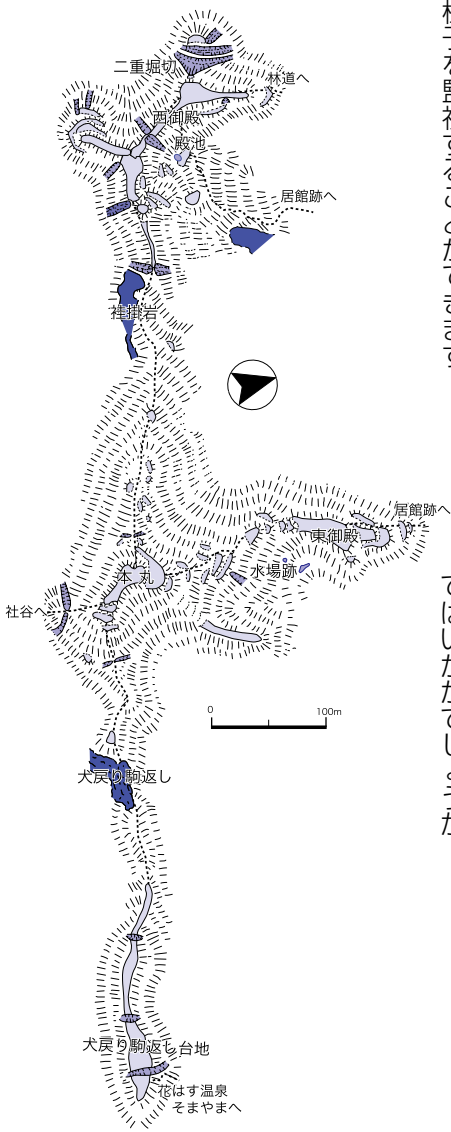
一、越前国府を望む

屈指の天然要塞

豊かな自然あふれる杉山は、以前より町のシンボルとして多くの人々に愛され親しまれてきました。その中でも良好に残る山頂の山城と城下の遺跡は、昭和9年と54年に国史跡の指定を受け、歴史学習・生涯学習の場として広く活用されています。

杉山城は鎌倉時代末期、越後の三島郡瓜生村から移ってきた瓜生保の父・衡ひらたけによって築城されたと言われています。以来、斯波氏、甲斐氏、河合氏などの城主を迎え、天正元年（一五七三）、織田信長の北陸攻めで廃城となるまでの約250年間、越前の玄関口をおさえる重要な城となりました。

山城は標高492mの山頂付近に築かれています。険しい地形を利用した天然の要塞で、切り立った崖が壁となって敵を容易に近づけさせません。山頂からは武生方面や今庄方面が一望でき、北陸道を通ってやってくる敵の様子を監視することができます。



山頂の「本丸」から延びる幾筋かの尾根筋に大小さまざまな曲輪（平坦面）が造られています。昭和47年から52年にかけて行われた発掘調査では、「東御殿」「西御殿」で建物の礎石が見つかりました。自生する木の根等に破壊され崩れている部分も多く、建物の性格など詳しいことはわかっていませんが、見張り台や兵が駐屯する建物であったのではないかと考えられています。これらの曲輪は堀切で区切られ、尾根つたいに迫る敵の侵入を防いでいます。また、「西御殿」には「殿池」と呼ばれる小池があり、この池は夏でも水が枯れることはないと言われ、城中の貴重な水源になっていました。

この他にも、新田義貞の夫人・勾当内侍が敵から一時的に身を隠したと言われる「姫穴」や、杉山城落城の際、姫や侍女たちが袿をかけて飛び降り自害したと伝わる「袿掛岩」など、杉山城には見所がたくさんあります。登山道はいくつかありますが、なるべく多くの史跡を見学するなら居館跡から登る登山道がおすすめです。建物の礎石や堀切は発掘調査のあとに整備され、実際に見学できるようになっていますので、春になったらハイキングもかねて一度登ってみてはいかがでしょうか。

食改

みつばちゃん 知恵袋

低エネルギーのごちそうメニューを紹介します。1品当たり140～200kcal程度でもボリューム感があって、おいしく食べられるメニューです。

「鶏むね肉と野菜の中華蒸し」

《材料(2人分)》

- 鶏むね肉……………160g
- 下味 酒……………大さじ1
- 醤油……………大さじ1
- 片栗粉……………大さじ1
- キャベツ……………3枚(150g)
- ざく切り
- ブロッコリー……………1/3株(60g)
- アスパラガス……………中2本(40g)
- 長さ4cmに切る
- 白髪ネギ……………5cm分
- オイスターソース……………小さじ2
- 酒……………大さじ1
- 塩、こしょう……………各少々

《作り方》

- ①鶏むね肉を下味につけ、10分程おく。
- ②①の汁気を切って、片栗粉をまぶす。
- ③耐熱皿にキャベツを敷き、鶏むね肉、ブロッコリー、アスパラガスを盛り、Aを回しかけ、塩、こしょうをふる。ふんわりとラップをかけ、電子レンジで約5分熱する。
- ④全体をよく混ぜ合わせ、仕上げに白髪ネギを飾る。

電子レンジで加熱することで、余分な脂肪を取り除くことができます。

